

まちへの愛着、まちへの誇り 「石狩PRIDE」の醸成

「このまちで住み続けたい・住みたいと思うまち」であり続けるために

札幌市の北に隣接する石狩市は、日本海に面し、サケを中心とした漁業と農業のまちとして歩んできました。その後、昭和40年代から札幌市のベッドタウンとして宅地化が進むとともに、重要港湾「石狩湾新港」の開発と背後の工業団地の造成により急速に発展してまいりました。約70kmにも及ぶ海岸線を擁し、札幌圏の食の宝庫ともいべき農水産資源と、雄大な石狩川河口の風景や暑寒別天売（しよかんべつてうり）焼尻国定公園など、多彩で魅力ある観光・交流資源を併せ持つまちとして発展を続けています。

多様な特性を備えた石狩の魅力をも市民と共感し、共にまちづくり

を進めるため、第5期総合計画では、30年後も魅力あるまちであり続けることなどを念頭に「まちに愛着や誇り（石狩PRIDE）を持つてもらおう」ことをテーマに掲げました。現在、同計画に基づき、「石狩PRIDE」の醸成を目指し、市民協働のまちづくりに取り組んでいます。

真の共生社会を目指して

平成25年、全国の市区町村で初の手話に関する条例「石狩市手話に関する基本条例」を制定しました。

条例案は、行政主体で作成したものではなく、聞こえない人（ろう者）や手話サークル、手話通訳者など、日ごろから手話に関わる方々を含めた手話条例検討会において議論され、数年を経て草案化

されました。

この条例が目指すのは、「手話は言語である」ことを、地域に暮らす市民が共に理解し合うことにある、市民とともに手話言語を意識し、手話の普及に努めていくことにあります。

現在、小中学生が手話言語を学ぶ「手話出前授業」や、地元の高校で「手話語」の授業が行われるなど



小中学生が手話言語を学ぶ「手話出前授業」

ど、手話の普及が着実に進み、多様な文化を認め合う、真の共生社会への確実な歩みを感じています。

笑顔あふれる子どもの居場所づくり

本市では、子どもたちが「等しく学べる環境づくり」「多様な経験の機会づくり」「安心して自己実現ができる居場所づくり」を、市民との協働で進めています。

現在、地域の方々や関係者との検討会、パブリックコメントなどを経て、若い世代の定住が進む地域に、子ども・子育て支援機能の



令和4年開設に向けて、準備を進める「(仮称)ふれあいの杜子ども館」(イメージパース)



エネルギーの供給拠点としての役割も担う「石狩湾新港」

充実を図っています。中高生の利用も想定した児童館機能に加え、放課後児童クラブや、子育て支援センターを併設した「(仮称)ふれあいの子ども館」の令和4年開設に向けて、準備を進めています。多世代の子どもたちと親同士による交流機会の創出、さらには、子育て家庭と地域がつながる場として、地域全体で子育て家庭や子どもの育ちを支える・見守る環境づくりを推し進めています。

石狩湾新港の新たな地域価値の創出

平成6年に国際貿易港(出入国港)として、新たな歩みを始めた石狩湾新港。道内最大の消費地である札幌市に一番近い国際貿易港で、操業する企業は650社を超え、約2万人の雇用を創出しています。札幌圏へ

の物資供給を担う物流の拠点であるとともに、LNGやLPG、太陽光や風力、バイオマスなど、エネルギーの供給拠点としての役割も担っています。

また、近年は次のように商業施設などの立地も進んでいます。
 ・本市初のビジネスホテル「スパパーホテル石狩(株)スーパーホテル」が令和2年3月にオープン。
 ・北海道で2号店となる「(仮称)コストコホールセール石狩倉庫店(コストコホールセールジャパン(株))」が本年にオープン予定。
 ・イオン北海道(株)の「(仮称)イオン石狩センター」が本年にオープン予定。

このほか、石狩湾沖で複数の事業者が洋上風力発電の新設を計画しており、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、再生エネルギーなどの産業分野での活発化にも強く期待できる地域として注目されています。

近年のこうしたさまざまな産業の集積は、本市がこれまでまき続けてきた種の芽吹きと捉えています。

今後、10年、20年先を見据えた施策の展開により、北海道の未

来をリードする、多様な産業空間を創出してまいります。

時代の大きな転換点 新しい石狩市へ

コロナ禍において、現在はあらゆる面で社会の在り方が変わる、時代の大きな転換点にあることを強く認識しています。

継続的な地域経済の回復と、に

プロフィール

- ◆ 面積 722・42km²
- ◆ 人口 5万8297人
- ◆ 世帯数 2万8151世帯

〔将来都市像〕市民一人ひとりが、いしかりに心と愛情を持ち、やりがいと誇りを持って活動するまち

〔まちの特徴〕札幌市のベッドタウンとして、石狩湾新港・工業団地の開発とともに発展し、海や山など豊富な資源を併せ持つまち

〔市町村合併〕平成17年10月1日、厚田村、浜益村を編入合併



石狩市長
加藤龍幸



〔特産品〕石狩鍋、サケ、ニシン、シヤコ、ハタハタ、ウニ、望来豚^{もちろいん}、浜益牛、米、ハマボウフウ

〔観光〕道の駅石狩「あいろーど厚田」、石狩浜海水浴場、厚田海浜プール、川下水浴場

〔イベント〕石狩市三大秋祭り(石狩さけまつり、厚田ふるさとあきあじ祭り、浜益ふるさと祭り)、ライジングサンロックフェスティバル

ぎわいの創出に向け、積極的な施策展開を図るためにも、協働のまちづくりと地域の特色を生かし、「新たな地域価値」を創出します。さらに、未来を切り開き、活力あるまちづくりに資するよう、感染症対策と施策推進の両立を図り、苦しいときこそ成長へのチャンスと捉え、戦略的な施策を進めてまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

市制施行50周年を迎え、 希望に満ちた君津の未来へ

豊かな自然と都市機能が
共存「住むなら、きみつ」

君津市は房総半島のほぼ中央部に位置し、臨海部には世界に誇る製鉄所と、整然と区画された市街地が広がり、内陸部には緑豊かな自然や歴史的な文化遺産などを数多く有しています。

本市は、井戸を掘る技術「上総かずさ



全国1位の生産量を誇る「水生カラー」



君津は酒造りが古くから盛んな地域

掘り」の発祥地であり、真珠のよ
うなあでやかさと気品を持ち、ウ
エディングブーケなどで人気の高
い「水生カラー」は全国1位の生
産量を誇っています。また、良質
な水を生かした酒造りが古くから
盛んで、東京国税局管内最多であ
る6軒の酒蔵があり、各蔵自慢の
地酒が楽しめます。さらに千葉県
で唯一、環境省の「平成の名水百
選」に選ばれた「生きた水・久留里」
があるように、豊富な湧き水と
肥沃な大地が米や野菜、畜産物、
地酒などのさまざまな特産品を育
んでいます。

高速道路やJRの在来線などの
交通網が充実し、東京湾アクアラ
インを利用すると都心へ約60分と
交通便利性に優れ、通勤通学にも
便利です。都市機能と里山の豊か
な自然が共存していることから、

一般社団法人移住・交流推進機構
（JOIN）による「2020年版
おすすめ移住・交流先20選」に選
ばれました。

**市民の命を守り抜く、
しなやかさと強さを
兼ね備えたまちへ**

令和元年、気候変動を実感させ
る過去最大級の台風と大雨が本市
を襲い、大きな爪痕を残しまし
た。この経験を教訓とし、本年度
中に策定する「君津市国土強靱
化地域計画」では、計画的なイン
フラの強化と自助・共助・公助の連
携が取れた防災対策を進めるとと
もに、地域防災計画を見直し、防
災・減災対策を強力に推進します。

また被災の経験からトイレト
レーターを配備し、防災力の強化
を図るとともに、全国の被災地へ



ドローンとAI、ICTを活用した橋梁点検

派遣し、支援の輪を広げたいと考
えています。

さらに、ドローンを活用したま
ちづくりの一つとして本市の職員
が発案し、産学官が連携した、ド
ローンとAI、ICTを活用し
た橋梁点検の手法が「君津モデル」
として確立されました。インフラ
の長寿命化や損傷の早期発見が期
待されており、今後さらに他のイ
ンフラや公共施設の点検への活用
も期待され、安全で安心なまちづ
くりを推進します。

全ての子どもたちの 健やかな成長のために

妊娠から子育て期にわたり切れ目のない支援に取り組むため、令和元年10月「すこやか親子サポート つみき」を開設しました。助産師や保健師、管理栄養士、歯科衛生士などの多職種チームによる専門的支援や、関係機関との連携の強化によるネットワーク型のワンストップ相談を行っています。妊娠届出時には常勤の助産師が全妊婦と面接を行い、個々に合わせた支援プランを作成するなど、一人一人に寄り添い、安心して子どもを産み育てられる環境づくりと支援の充実を図っています。



全小中学校児童生徒へ1人1台のタブレット端末を導入

教育環境整備では、全小中学校児童生徒に対し、1人1台のタブレット端末の導入を近隣他

市に先駆けて行うなど、未来につながる事業を積極的に推進していきます。また、少子化により児童生徒数の大幅な減少が見込まれる中、子どもたちにとってより良い教育環境を目指し、平成27年度に「君津市学校再編基本計画」を策定しました。令和3年度には中間地域の学校統合を中心とする第1次実施プログラムが完了しますが、統合だけでなく、小中一貫教育やコミュニティ・スクールの導入など、時代の変化や地域の特性を見据えた「地域と共にある学校づくり」の視点で再編を進めており、引き続き「活力ある魅力的な学校づくり」に取り組みます。

誰もが「幸せ」を 実感できるまちへ

本市は本年、市制施行50周年を迎えます。先人たちが築き、守ってきた50年の歴史を私たちは受け継ぎ、持続可能な発展を遂げながら、子どもや孫の世代につなげていかなければなりません。

本市では、次世代に向けたまちづくりの重要な要素の一つであるファシリテイマネジメントを推進するため、無作為に抽出した市民

による「君津まちづくりプロジェクト」を開催し、参加した市民とともに公共施設再配置の考え方や手法などを取りまとめました。こうした市民の声を基に再配置の方針を策定し、将来に向け、持続可能な公共施設サービスの構築を進めています。

さらに、この節目の年に、市政運営の長期的な指針となる次期総合計画を策定します。誰もが幸せをあきらめない、幸せを実感できるまちづくりは何としても目指さなければなりません。そのためにも、策定プロセスでは市民やさまざまな団体の皆さまとの対話を重視しています。既に実施した大学と連携した中高生のワークショップや、オンラインによる市民会議などでは、建設的で活発なご意見を多くいただきました。今後市民の皆さまと目指すべき将来像を共有し、「希望に満ちた君津の未来」の実現に向け取り組みます。

プロフィール

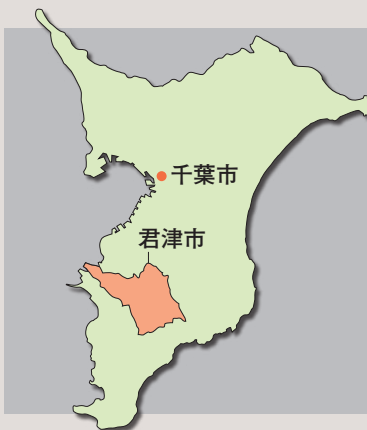
- ◆ 面積 318.81km²
- ◆ 人口 8万3005人
- ◆ 世帯数 3万9147世帯

〔まちの特徴〕豊かな自然と、世界に誇る製鉄所や都心への高い交通利便性などの都市機能が共存する暮らしやすいまち

〔特産品〕カラー、地酒、いちご、たまご、小糸在来[®]の枝豆、自然薯



君津市長
石井宏子



〔観光〕清水溪流広場（濃溝の滝・亀岩の洞窟）、鹿野山九十九谷展望公園、久留里城、亀山湖、豊英大滝

〔イベント〕君津市民ふれあい祭り、戦国の里・三舟山&郡ダムお花見ウォーク、亀山オートナムフェスティバル、きみつ枝豆収穫祭、きみつの地酒まつり

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

「住みたい
悠久の都」高い利便性と豊かな
自然が調和するまち

京都盆地の南西部、西山連峰の麓に広がる長岡京市。京都と大阪の間に位置する地の利から、高度経済成長期に発展を遂げました。

本市の魅力の一つは交通の利便性の高さにあります。JR・阪急を利用すれば京都へ約10分、大阪へ約30分で行き来することができま



中心市街地とその背景に望む西山

ことができます。市内三つの鉄道駅の一つである阪急西山天王山駅は、京都縦貫自動車道の高架下にあり、鉄道駅と高速道路がつながる全国でも珍しい駅です。長岡京ICに併設の高速バス停にも接続しており、全国各地へ

ながおかきょう

長岡京市（京都府）

長岡京市長

なかこうじけんご
中小路健吾住みつづけたい
長岡京」を目指して

のアクセス拠点となっています。

また、もう一つの魅力として、市域の約4割を占める西山に代表される豊かな自然があります。特産品である京たけのこ栽培が盛んで、市街地にも農地が広がり、都市的な利便さと豊かな自然が調和する街並みを形成しています。

本市の歴史は古く、市名の由来となった「長岡京」が8世紀末に桓武天皇によって平城京から遷都され、6世紀初めにも継体天皇が「弟国宮」を置くなど、政治・経済の中心地として栄えました。昭和47年には市制が施行され、令和4年10月に市制施行50周年の節目の時期を迎えることとなります。

こうした交通の利便性と、豊かな自然や歴史が共存する本市の魅力を一かしこ暮らしつく「長岡京」という都市ブランドコンセプトで

表現し、交流人口や定住人口の増加に向けたシテイプロモーションを展開しています。

自分たちの地域を
「自分ごと化」する取り組み

本市ではこれまで人口微増が続いていましたが、現在は人口減少の局面に入っています。また、いわゆる「自治会離れ」が起こっており、自治会加入率は平成13年度の71.0%から本年度は53.3%にまで減少しています。

本格的な人口減少時代を迎える中で、持続可能な自治体経営を継続し、多様化する市民ニーズや地域課題、度重なる自然災害などに対応していくためには、人と人とのつながりが重要となり、より多くの市民に地域活動に関わっていただくことが不可欠となってきます。

地域の方たちが自分たちの地域を「自分ごと化」して考える。その実現に向け、現在、本市では「(仮称)自治振興条例」の制定に関する取り組みを進めています。

この条例において、市民や自治会をはじめとする地域コミュニティ、そして行政の果たすべき役割を明確にし、それぞれが対等な立場で、互いの現状や課題、地域のニーズなどを共有し、解決策を考える仕組みをつくっていきたいと考えています。

また、条例制定におけるプロセ



令和2年12月12日に開催した「第1回 自分ごと化会議」(分科会)

スを大切にし、より多くの市民を巻き込んだ議論を行うことで、地域活動に対する参加意識を醸成していきます。

学識経験者、地域の代表者などで構成する「条例検討委員会」、無作為に抽出した16歳以上の市民の方から参加希望のあった68人を含む「自分ごと化会議」、市民の誰もが参加できる「市民意見交換会」、市役所中堅職員を中心に立ち上げた「庁内条例検討プロジェクトチーム」、条例制定に向けてこれから四つの会議を構成し、議論を深める作業を令和3年度にかけて行っています。条例施行については令和4年10月を目指し、取り組みを進めていきます。



「日本の歴史公園100選」に選定されている「勝竜寺城公園」

大河ドラマを契機に、一過性に終わらせない地域振興

間もなく大河ドラマ「麒麟がくる」が最終回を迎えます。本市には、キリシマツツジが咲き誇る長岡天満宮や、京都屈指の紅葉寺として人気の西山浄土宗総本山「光明寺」、手水鉢に季節の花を浮かべる「花手水」発祥の柳谷観音楊谷寺などの観光資源のほか、主人公の明智光秀が、山崎の戦いで本陣を置いたと推定される国史跡「恵解山古墳」や、最期の夜を過ごした勝龍寺城もあります。この勝龍寺城は、光秀の娘・たま（後の細川ガラシャ）が幸せな新婚生活を過ごした城でもあります。平成4年に都市公園「勝竜寺城公園」として整備したことを記念し、毎年



市内外から約6万人が訪れる「長岡京ガラシヤ祭」

11月第2日曜日に、たまの興入れ行列を再現する「長岡京ガラシヤ祭」を開催しています。

大河ドラマの放送決定を受け、庁内の関係各課でプロジェクトチームを結成し、さまざまな取り組みを進めてきました。本年は、城主・細川藤孝（幽斎）が、勝龍寺城を「瓦・石垣・天主」を備えた近世城郭の原点ともいえる城に改修してから450年の節目を迎えることから、新たな城の魅力を全国に発信する取り組みを予定しています。

プロフィール

- ◆ 面積 19・17km²
- ◆ 人口 8万1055人
- ◆ 世帯数 3万6503世帯

〔将来都市像〕住みたい 住みつけたい 悠久の都 長岡京
〔まちの特徴〕京都・大阪の中間に位置する高い利便性と、自然の豊かさがもたらす快適性が調和するまち



長岡京市長
中小路健吾

新たなスタートとなる令和3年度

令和3年度は、令和7年度までの5年間のまちづくりの基本方針を定めた「長岡京市第4次総合計画第2期基本計画」が新たにスタートする年でもあります。本市ではウイズコロナ時代も見据えながら、今後も「住みたい 住みつけたい 悠久の都 長岡京」を目指し、さまざまな施策を進めてまいります。



〔特産品〕京たけのこ、竹工芸品、花菜、京都茄子
〔観光〕長岡天満宮、光明寺、乙訓寺、柳谷観音楊谷寺、勝竜寺城公園、勝龍寺、恵解山古墳
〔イベント〕長岡京ガラシヤ祭、長岡京春の観光まつり、たけのこフェスタ、あじさいウィーク、京都・西山長岡京もみじめぐり

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

たけはら 竹原市（広島県）

竹原市長 今榮敏彦
いまえとしひこ

わが

「元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、 竹原市。」の実現を目指して

歴史と文化の薫るまち

竹原市は、瀬戸内海沿岸部の中央にあり、広島県南部のほぼ中央に位置しています。温暖な気候がもたらす、海・山・川の豊かな自然

と、江戸時代に製塩業や酒造業で繁栄した面影を今に伝える町並み「たけはら



江戸時代の面影を今に伝える「たけはら町並み保存地区」



毎年秋に行われる「町並み竹灯り～たけはら憧れの路～」

町並み保存地区」（国重要伝統的建造物群保存地区）を有し、元内閣総理大臣の池田勇人氏やニッカウキスキー創業者の竹鶴政孝氏など、多くの偉人を輩出してきた、歴史と文化の薫るまちです。

また、令和元年には日本遺産「北前船寄港地・船主集落」の追加認定を受け、「大久野島」おおくのしまがウサギの島として話題になった他、連続テレビ小説「マッサン」、アニメ「たまゆら」の舞台となったことで、多くの方に訪れていただいています。

まちづくりの羅針盤

本格的な人口減少社会が到来する中、持続可能な都市として発展していくためには、本市の強みである「人と人の顔が見えるコミュニティ」を礎として、市民と行政

が一体となってまちづくりに取り組み、にぎわいや活力を生み出していくことが重要です。そのため、平成31年3月、目指すべきまちの姿を明らかにするとともに、その実現のために取り組んでいく施策を掲げた「第6次竹原市総合計画」を策定しました。

「誇りと愛着を持てるまち」「個性的で魅力あるまち」を目指すことが、人口が減少する中においても、まちのにぎわいや活力の維持・向上につながるかと考えております。このため、市民一人一人が「生まれて良かった」「住んで良かった」と実感し、進学や就職などで転出した人や本市にゆかりのある人、関心のある人が「帰ってきた」「住んでみたい」と思える元気な本市の実現をまちづくりの基本理念とし、10年後の将来都市像を

「元気と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」と決めました。

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興

本市が目指す将来都市像の実現において、平成30年7月豪雨災害からの早期復旧・復興は、最優先で取り組むべき課題と考えております。

平成30年7月に発生した豪雨災害では、本市において観測史上最大の雨量となり、土砂災害や河川の氾濫など甚大な被害が発生し、災害関連死2人を含む6人の尊い命が失われました。

この災害からの早期の復旧・復興を目指し、総合計画の基本計画として「竹原市復旧・復興プラン」を位置付け、「がんばろう竹原」を合言葉に、「くらしの再建」「まちの復旧」「そなえの強化」の3本を柱とし、全庁を挙げて全力で取り組んでまいりました。市が管理する道路や河川などについて、本年度末の工事完了を目指すことも



穏やかな瀬戸内海

に、新たな取り組みとして、利用されなくなった農業用ため池の廃止、民間事業所との災害発生時などの各種の連携協定の締結、地域防災リーダー研修会の開催などに取り組んでおります。

過去の災害の教訓を踏まえ、各種団体と連携・協力を図りながら、万全の備えを進め、市民の皆さまの生命を守り、安心して暮らすことのできるまちの実現に向け、取り組んでまいります。

たけはらファンを増やす取り組み

将来都市像の実現への下支えとして、特に力を入れ、取り組んでいるのがシティブロモーションです。

人口減少に伴う地域活力の低下や担い手不足などへの対応が課題となる中、将来都市像を実現するには、市民が本市の魅力再認識・再発見し、まちづくりに携わるとともに、本市の魅力を国内外に向けて積極的かつ効果的に発信し、選ば



たけはらファンクラブのロゴ

れる都市となる必要があります。

こうした考えの下、令和2年8月、新たに「たけはらファンクラブ」を創設したところ、本市ゆかりの方々にもご賛同いただき、「たけはら愛」に満ちあふれる多くの方に会員になっていただいております。会員の方には、メールマガジンでの情報配信や会員限定の特典を設けており、今後は、会員が地域に直接関わるような取り組みを進める予定です。

これからも、本市の魅力や情報を広く発信することにより、交流人口や関係人口の増加につなげるとともに、市民のシビックプライドを醸成し、にぎわいの創出や新たな担い手の確保など、将来的な課題の解決を図ってまいります。

困難を乗り越え、将来都市像の実現へ

新型コロナウイルス感染症が全

世界で猛威を振るい、感染拡大の影響で多くの尊い命が奪われるなど、経済や社会生活など多方面において甚大な影響を及ぼしています。本市においては、関係機関と連携し、市民の皆さまの健康と暮らしを守るため、感染拡大の防止と経済活動の両立に取り組んでまいりました。この困難を乗り越え、一日も早く元の生活を取り戻せるよう、引き続き感染症対策に取り組むとともに、将来都市像

プロフィール

- ◆ 面積 118・23 km²
- ◆ 人口 2万4566人
- ◆ 世帯数 1万2218世帯

〔将来都市像〕元氣と笑顔が織り成す暮らし誇らし、竹原市。

〔まちの特徴〕海・山・川など豊かな自然と、江戸時代の町並みを今に伝える歴史と文化薫るまち

〔特産品〕清酒、タケノコ、ぶどう、



竹原市長
今榮敏彦



〔観光〕たけはら町並み保存地区(国重要伝統的建造物群保存地区)、大久野島、湯坂温泉郷、道の駅たけはら、たけはら海の駅、黒滝山、朝日山

〔イベント〕さくらフェス、たけはら町並み雛めぐり、たけはら竹まつり、町並み竹灯り、たけはら憧憬の路、

レンガ、ジャガイモ、ジャム、牛肉、マダイ



大久野島のウサギ

「元氣と笑顔が織り成す 暮らし誇らし、竹原市。」の実現に向け、全力を傾注してまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。